

平成22年度財団法人埼玉県体育協会
第1回理事会議事録

日 時：平成22年5月20日（木） 午後3時30分より

会 場：財団法人埼玉県自治会館4階ホール

出席者：櫻井 勝利 三戸 一嘉 岩崎 金治 岡野 進一 押田 一
小原 敏彦 金子 晃之 小山 吉男 坂口 信豊 島野 直
鈴木 征 高橋 利明 豊泉 一雄 豊田 幹雄 中田 茂男
中田 善雄 野口 省吾 羽田 聡 藤沼 貞夫 船田 昭介
宮内 孝知 村田 次郎 茂木 敬司 諸口 高男 谷古宇勘司
山下 晴海 山本 重幸 横川 朝治 和田 卓 渡邊 淳
以上30名

委任者：関根 郁夫 田巻 隆平 永井 一博 油井 正幸 以上4名

陪 席：田中 美明（監事）

齋藤 明博（埼玉県高等学校体育連盟理事長）

以上2名

事務局：岩崎 充晃 長谷川 伸 栗原 健一 阿部 隆宏 久保 吉史
以上5名

あいさつ 櫻井 勝利 副会長

委嘱状交付式

定足数の確認

【岩 崎】 理事37名のうち出席30名・委任4名・合計34名、寄附行為第26条第2項により理事会成立を報告。

議長は寄附行為26条及び第16条第3項により櫻井勝利副会長。

議事録署名人

【櫻 井】 寄附行為第27条により議事録作成にかかる署名人2名を指名させていただく。藤沼貞夫理事・小原敏彦理事。

協議事項

【櫻 井】 第一号議案の事業報告並びに第二号議案の決算については、関連が深いので続けて説明いただき、二つ合わせてご意見・ご質問を賜りたい。

第一号議案 平成21年度事業報告について

【三 戸】 平成21年度の主な内容のうち、大きな事柄として、公益財団法人移行認定に向けた取り組み。大宮公園にある飛行塔の施設改善積立金の目的及び積立額の明確化と、それに伴う基本財産の増額。

また、財団法人埼玉県自治会館の解散に伴い、本協会が入居している建物も取り壊しが決定したので、本年度末を目処に、本協会事務局も移転をす

る。

基本方針は従来どおりで、「競技力向上」と「生涯スポーツ社会の実現を目指す」の二つを掲げた。

事業内容については、事前に資料をお送りし、既にお目通しいただいておりますので、細かな部分は省略させていただきます。

スポーツ振興事業をはじめ、競技力向上事業、スポーツ少年団事業など大きく9つの区分の事業を実施した。

はじめにスポーツ振興事業では、11項目に取り組んだ。

総合型地域スポーツクラブの育成推進では、東松山市の（仮称）総合型地域スポーツクラブ唐子設立準備委員会、飯能市の飯能総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会、小鹿野町の（仮称）ふあいぶるクラブむてっぼうの3クラブが設立され、合わせて県内に57の総合型地域スポーツクラブが設立された。

郡市町村体育協会連絡会議では、特に昨年度は、高槻市体育協会の落雷事故の問題があったので、主催者賠償責任問題等について協議した他、共通の課題である体育協会の法人化や総合型地域スポーツクラブの推進等について協議した。

公認スポーツ指導者養成講習会・研修会の開催では、7競技226名が受講し、10月1日現在、本県に登録している日本体育協会公認スポーツ指導者は7,777名で、昨年よりも大幅に増えている。

埼玉県立武道館の指定管理及び活動支援では、ただ単に建物の管理をするだけでなく、武道館祭り、元旦初稽古会、オリンピック競技会金メダリストの少年柔道講習会の自主事業を支援した。

中でも、オリンピック競技会金メダリストの少年柔道講習会では、古賀稔彦氏を講師に迎え、参加者の他に指導者や保護者などを合わせると1,000名を大幅に超え、大盛況のうちに終了した。

スポーツ大会の支援及び開催では、秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援、埼玉県駅伝競走大会の開催、第22回県民総合体育大会の開催を行った。

県民総合体育大会は、総計540大会、大会参加者総数41万人で、全国にも類を見ない大規模な大会。

大宮公園スポーツランド（飛行塔）の運営では、昨年の入場者総数は97,570名（保険加入者数）。

2009埼玉県・安徽省テニス競技交流事業では、中華人民共和国安徽省へ20名の派遣と、21名の受入を行った。

競技力向上事業では、直接的な選手強化・育成事業を7項目実施し、それらをサポートする事業を6項目実施した。

第64回国民体位大会では天皇杯第4位を獲得はしたが、9年連続天皇杯第3位以内の目標は達成出来なかった。第65回国民体育大会では、再び天皇杯第3位以内を目指し挑んでいる。

平成 21 年度から実施した彩の国ジュニアアスリートアカデミーでは、27 競技 38 種別で約 2,000 名が参加し、次代を担う若者に、定期的且つ継続的な一貫指導を実施した。これらの選手が 2 年後、3 年後に活躍することを期待する。

中・高体連育成強化事業では、全国高等学校総合体育大会及び全国中学校体育大会の成績を記載したが、全国高等学校総合体育大会では、一昨年の本県開催「彩夏到来 08 埼玉総体」の活躍に変わらぬ成果をあげた。

全国中学校体育大会では、近年成績が停滞気味だったが若干の盛り返しが出てきた。

埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱では、監督や選手が所属する高等学校長と中学校体育連盟会長合わせて 143 名の方々を御委嘱し、選手強化事業への理解と協力をお願いした。

関東ブロック大会及び国民体育大会埼玉県選手団の編成及び派遣では、関東ブロック大会 62.7%の通過で、久しぶりに大選手団で本大会に臨んだが、惜しくも天皇杯第 3 位を逃した。

競技団体長・支援企業等協議会では、支援企業のほか、大学やクラブなど幅広くサポーターを増やしていく。

スポーツ少年団事業では、6 項目の事業に取り組み、埼玉県スポーツ少年団大会の開催では、12 の種目別大会と野外活動の大会を実施した。

日独同時交流事業は、団員 1 名を派遣し、吉見町で受入を行っていただいた。

指導者養成・研修事業及びリーダー養成・研修事業では、現在指導している指導者と次代の指導者の養成や研修を行った。

国内交流大会派遣事業では、5 つの大会に派遣し、中でも、第 28 回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会は、川越市を中心に本県で開催し、受入（大会運営）と派遣を行った。

平成 21 年度埼玉県スポーツ少年団登録状況は、団数が北海道に次ぎ第 2 位の 1,807 団、指導者数は全国第 1 位の 18,339 名、団員数は、少子化の影響で 60,000 人を割ってはいるが、59,684 名で全国第 1 位。

スポーツ科学研究事業では、4 項目の事業に取り組んだ。大きな取り組みとして、国民体育大会埼玉県選手団候補選手 28 競技 780 名に、問診票によるメディカルチェックを行った。

免税募金活動では、例年より多くのご寄付を頂戴した。

スポーツ振興くじ助成事業は応募しなかった。

広報・普及活動事業では、ホームページを大幅に改善し、ブログ式により情報提供を迅速にしたほか、スポーツ活動や大会の様子を撮影した写真提供の充実と新たに動画配信を実施した。

顕彰事業は、本協会が推薦したものを含め 7 つの表彰等を行い、埼玉県体育賞では、582 名の方々が受賞された。

栄光賞の栄光旗には、全日本中学校陸上競技選手権大会 400 メートルリレ

一で、本県の常盤中学校が保持していた日本中学生記録を、26年ぶりに更新した朝霞市立朝霞第一中学校陸上競技部が受賞した。

財団法人埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰では、1,053校1,934名の児童・生徒を表彰した。

諸会議では、理事会、評議員会等記載のとおり実施した。平成21年度は公益財団法人に向けた会議を総務委員会で実施した。

最後に、平成21年度にご寄付いただいた方々を掲載させていただいた。ご協力ありがとうございました。

第二号議案 平成21年度決算について

【岩崎】平成21年度の決算についても、事前に資料にお目通しいただいているので、昨年と大きく変わったところを中心にご説明いたします。

貸借対照表から資産の内訳は、流動資産75,630,078円。固定資産は、事業報告にもあったように、基本財産を100,000,000円にして固定資産合計173,518,656円。資産合計249,148,743円。

負債の内訳は、流動負債7,551,683円。固定負債65,842,949円。負債合計73,394,632円。正味財産合計175,754,111円。

貸借対照表総括表は、会計ごとに記載してある。

正味財産増減計算書の一般会計では、施設改善積立金の目的及び積立額の明確化と、それに合わせた新規施設改善積立と基本財産の増額のため、施設改善等引当資産取崩益が大幅に増え、経常収益計は227,604,881円

経常費用では、平成20年度末に退職した職員に退職給付の支払。県民スポーツ振興費では、平成20年度に本県で開催した「彩夏到来08埼玉総体」で配布したキャッチフレーズ入りのハンドタオル分の費用が減った。

スポーツ活動支援事業では、2009埼玉県・安徽省テニス競技交流事業の派遣及び受入の費用が増えた。経常費用123,826,981円。正味財産期末残高161,841,721円。

正味財産増減計算書のスポーツ振興事業特別会計は、競技力向上事業、スポーツ少年団事業、生涯スポーツ振興事業の3つの事業で構成されている。

国庫補助金は、近代五種バイアスロン連合への馬匹管理にかかる費用。県費補助金131,782,775円。日体協補助金等9,232,900円。

受取登録金と受取参加料の大半はスポーツ少年団事業の収益。

経常費用では、選手強化事業費、選手育成費、国際競技派遣費が競技向上事業にかかる費用。

スポーツ少年団費では、県スポーツ少年団種目別大会の開催、全国スポーツ少年団大会等への派遣、指導者・リーダーの養成の費用。

生涯スポーツ振興費では、各種大会への派遣費やスポーツ科学研究費などの費用。正味財産期末残高は5,309,260円。

正味財産増減計算書の事業部特別会計は、大宮公園にある飛行塔の会計で、入場料収入は総収入の15%の1,750,622円。経常費用は、土地使用料、什器備品減価償却費。

正味財産増減計算書の学校体育団体等補助事業特別会計は、21,180,000円全額が県費補助金で、学校体育団体等補助金 2,600,000円、高体連補助金 8,125,000円、中体連補助金 5,570,000円、県体指協補助金 900,000円、県レクリエーション協会補助金 3,985,000円への支払補助金。

正味財産増減計算書の免税募金特別会計は、7,700,000円一般会計へ繰入をし、うち 6,000,000円を基本財産の取得に充てた。

正味財産増減計算書のスポーツ振興くじ助成事業特別会計は、平成 21 年度は応募しなかった。

財務諸表に対する注記の 4 で、先程來說明に出てきている基本財産及び特定資産の増減額及びその残高を並びに内訳を記している。

基本財産は、中央三井信託銀行に 70,000,000円。埼玉懸信用金庫に 10,000,000円。彩の国みらい債を 20,000,000円で構成されている。

なお、中央三井信託銀行の 70,000,000円については、今後、ペイオフ対策として分散して保有していく。

財産目録は、保管場所や使用目的、金額等を記載してある。

内部管理事項は、予算現額と決算額及び差異で表記した収支計算書。

【櫻 井】 本日、田中美明監事がお見えいただいているので、監査報告をいただきたいと思います。

監査報告

【田 中】 平成 22 年 5 月 14 日（金）、埼玉県自治会館内において、平成 21 年度財団法人埼玉県体育協会歳入・歳出決算について、会計諸帳簿・証拠書類及び預金通帳等の関係諸帳簿と照合監査した結果、一般会計、特別会計、貸借対照表ともそれぞれ相違なく、かつ適正に執行されていることを確認致しましたのでご報告致します。

【櫻 井】 第一号議案及び第二号議案について何かご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮り致します。第一号議案平成 21 年度財団法人埼玉県体育協会事業報告並びに第二号議案平成 21 年度財団法人埼玉県体育協会決算について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第一号議案並びに第二号議案は、原案のとおり承認することに決しました。

第三号議案 平成 22 年度予算の一部補正について

【岩 崎】 一般会計においては、先般、日本体育協会から、日中テニス交流事業の内示を受けたので、日本体育協会補助金に 1,800,000円。スポーツ活動支援事業に 1,800,000円それぞれ補正増したい。

また、平成 21 年度の繰越金が確定したので、繰越金を予備費並と施設改善引当資産取得支出補正したい。

スポーツ振興事業特別会計、事業部特別会計、免税募金特別会計については、平成 21 年度の繰越金が確定したので、繰越金と予備費を補正したい。

【櫻 井】 第三号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮り致します。第三号議案平成 22 年度予算の一部補正について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第三号議案は原案のとおり承認することに決しました。

第四号議案 財団法人埼玉県体育協会事務局規程の一部改正について

【三 戸】 現行の規程では、会長の決裁は 1,000,000 円を超える支出、専務理事の決裁は 300,000 円以上 1,000,000 円未満の支出となっている。

新会長が上田清司知事なったのを契機に、繁雑だった事務処理を改正したい。

この件については、事前に秘書課とも相談し、総務委員会・副会長会議で話し合い、上田会長にもご理解をいただいている。

改定の内容は、第 14 条の会長の決裁額を 5,000,000 円を超える支出とし、第 15 条の専務理事の決裁額を 300,000 円以上 5,000,000 円までの支出としたい。

【櫻 井】 第四号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮りいたします。第四号議案財団法人埼玉県体育協会事務局規程の一部改正について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第四号議案は原案のとおり承認することに決しました。

第五号議案 理事の所属委員会について

【三 戸】 平成 22・23 年度の理事の所属委員会については、競技団体選出の理事の方々は選手強化委員会と他に一つ、郡市体協選出の理事の方々には普及委員会と他に一つを軸をお願いしてある。

スポーツ科学委員会とスポーツ少年団は理事の他に専門部や本部員がいるので他の委員会よりも少なくなっている。

加盟審査委員会と請負業者選定委員会については、今までの経緯等もあるので再任された理事で且つ前回もお務めいただいた方を中心をお願いしたい。

【櫻 井】 第五号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮りいたします。第五号議案理事の所属委員会について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第五号議案は原案のとおり承認することに決しました。

第六号議案 理事の変更について

【三 戸】 埼玉県高等学校体育連盟理事長だった永井一博理事が、4月1日付けで埼玉県立伊奈学園総合高越学校教頭に転出さ、5月20日付けで辞任届けが提出されたので、後任の斎藤明博理事長を新たに理事にお願いしたい。

【櫻 井】 第六号議案について何かご意見ご質問とうございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮りいたします。第六号議案理事の変更についてについて原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第六号議案は原案のとおり承認することに決しました。

三戸副会長兼専務理事より斎藤明博理事長の紹介

第七号議案 スポーツ科学委員会コーチング専門部会員について

【宮 内】 本協会のスポーツ科学委員会には、スポーツ医学、スポーツ科学、コーチングの三つの専門部があり、この度、コーチング専門部の委員の選出方法についてご承認いただきたい。

コーチング専門部会の事業は、競技団体の強化担当者や現場との連携が不可欠なことから、競技団体からの委員の選出をお願いしたい。

具体的には、国民体育大会実施40競技を五つグループに分け、それぞれのグループから1名選出する。

任期は2年とし、グループ内での輪番制としたい。

【櫻 井】 第七号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮りいたします。第七号議案スポーツ科学委員会コーチング専門部会員について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第七号議案は原案のとおり承認することに決しました。

その他（武道館報告）

【櫻 井】 埼玉県立武道館の過去5年間の年次別利用状況が纏まり増したのでご報告致します。

平成20年度からは、本協会と株式会社サイオーとの共同事業体で指定管理しており、平成17年度の51.17%から平成21年度は81.95%と増えているが、管理目標は85%でまだ達成していない。

他県に類を見ない高い管理目標ではあるが、これからも、広く県民のスポーツ活動の場として鋭意努力していく。

利用者の推移では、平成17年度の143,914名の利用者数から平成21年度は172,852名まで増えた。

最後に、来る5月30日（日）に、春の武道館まつりを開催いたします。

日頃の武道館生の稽古の成果（集団演武）や、師範の方々による形の披露

の他、地域の方々や上尾市の農政課や教育委員会のご協力を得て、新鮮野菜やおまんじゅう等の販売も行います。

是非、お時間のある方はお越し頂ければ幸いです。

以上全議事を終了し 16 時 42 分閉会

その他

【岩 崎】 5 時 30 分から新旧役員の懇親会を開催いたしますので、ご出席いただける理事の方々は、お時間までにお集まりください。

議 長

署名人

署名人